

「青山メディカルグループにおける 外国人材の質と教育システムを探る」

～一気通貫で人材選定から現地教育・送り出し・国内教育・就業支援

学習支援・生活支援を行い、介護福祉士国家試験で97.4%の合格率を達成～

2015年6月、ベトナムハノイでJVMCHRを設立、いち早く外国人介護人材の確保と教育に乗り出した青山メディカルグループは、本年1月に実施された介護福祉士国家試験において、支援した留学生の40名中、39名が合格（合格率97.5%）する快挙を成し遂げ、その成果を喜んだ。

そこで、「Visionと戦略」7月号特集では、どのようにして、このような快挙に至ったのか。ベトナムでの人材選定、現地での日本語・介護教育、入国後の日本語教育、専門学校教育、アルバイト施設での就業支援、学習支援、生活支援などの実際について取材を行ったので、一気通貫の教育支援システムの有効性について報告する。

- | | | |
|---------------|------------------------------------|---|
| Part 1 | 介護留学生は5年間で20倍超
養成施設入学者の3割に近づく | 『Visionと戦略』編集部 |
| Part 2 | 介護福祉士養成施設・
EPAにおける介護福祉士国家試験合格率 | 『Visionと戦略』編集部 |
| Part 3 | 青山メディカルグループ
留学生プログラム[PHOTO] | |
| Part 4 | 受験者40名中39名が国家試験合格
勉強に専念させる体制を整備 | JVMCHR 代表取締役
株式会社青山ケアサポート 代表取締役
岡田 宗修 氏 |
| Part 5 | 重点指導する語学技能は
介護に必要な聞き、話す能力 | JVMCHR留学コンサルティングセンター
センター長
サイブ 千賀 氏 |
| Part 6 | 日本語能力試験向けでなく
介護現場で使える日本語力に特化 | 青山ホープアカデミー日本語学校
副校長
阿部 卓史 氏 |
| Part 7 | 個別面談やライン活用で
学習・就労・生活を支援 | 青山メディカルグループ 兵庫地区統括責任者
介護老人福祉施設サンピラこうべ 施設長
早川 達道 氏 |
| Part 8 | 介護福祉士資格を取得した
ベトナム人介護職員の高い志 | マン グエン スアン ハン 氏
ファム ティ タイン フエン 氏 |

介護留学生は5年間で20倍超 養成施設入学者の3割に近づく

出身国数は26カ国
最多人数はベトナム

外国人介護人材のうち、E

PA人材は別として、質を求
めるなら留学生がベターとい
う選択肢が定説になった。留

学生が介護福祉士試験に合格
後、在留資格「介護」を取

得し、長く日本で就労する。

このコースを見据えて数年
来、介護福祉士養成施設の留
学生数は右肩上がりを続け、
2015年度に94人だった入
学者数は19年度に2037人
とじつに入学者数全体の29・
2%を占めた。受け入れ校も
15年度の29校から167校に
増えた（公益社団法人日本介
護福祉士養成施設協会調べ）。

出身国数も、15年度の9カ
国から19年度には26カ国に
増え、入学者はベトナムが
圧倒的に多く1047人。以
下、中国（212名）、ネパ

ル（203名）、フィリピン
（163名）、インドネシア
（106名）、ミャンマー（99
名）、スリランカ（95名）と続く。

介護福祉士養成施設の定員
充足率が50%を切っているな
かで、いまや留学生は欠かせ
ない存在になった。これは

養成施設に限ったことではな
く、専門学校の多くが直面し
ている問題だが、留学生を確
保できなければ、学校経営は
危機の淵に落ちてしまいかね
ない。学生数を留学生に頼っ
た経営があるべき姿かどうか
はともかく、向き合わなけれ
ばならない現実である。

一方で、介護福祉士国家試
験で留学生の合格状況はどう
なのか。18年度の合格率は
38・0%、19年度は35・9%。
数ある国家試験のなかで介護
福祉士は比較の合格率が高い
と言われ、日本人を含む全受
験者の合格率は、18年度に

70・8%、19年度に73・7%
だった（厚生労働省発表）。
留学生の合格率は全受験者の
約2分の1だから、まだまだ
ハードルが高いようだ。

介護福祉士養成施設協会 低い合格率を懸念する

平成28年3月、養成校の卒
業に係る介護福祉士の資格
取得方法の一元化に関し、令
和4年度からの国家試験の義
務付けを図るために設置した
5年の経過措置に関する法律
が成立し交付された。これに
ついて、日本介護福祉士養成
施設協会は危惧。昨年10月、
自由民主党が開いた社会保障
制度調査会介護委員会に対し
て、次のように説明した。

「今後、少なくとも
2000人以上、介護福祉士
を目指し養成施設への入学を
希望する者がいると推定さ
れ、そのうち6割以上の者が

不合格になると、日本の介護
施設で介護業務に従事できな
い者が毎年1000人以上で
る。介護施設における人材不
足が毎年1000人以上累積
していくことが推定される」

そのうえで①経過措置を令
和4年以降も継続②国家試験
が不合格となった場合の「准
介護福祉士」について、当該
年の4月以降に介護施設での
フルタイム就労を可能とする
在留資格を創設する③留学生
が卒業した後も介護福祉士国
家試験受験への経費を助成す
る④卒業した留学生が就労す
る介護施設において受験環境
を整備するための費用などを
支援する——などの措置を要
請した。

介護福祉士国家試験への合
格状況が向上しなければ、や
がて入学者数に影響が及び、
ひいては介護現場にも外国人
人材の確保難として跳ね返っ
てくる。

留学生を巡るこうした問題
を踏まえると、青山メディカ
ルグループ（大阪府吹田市）
の実績は快挙といえるだろう。
ベトナムに設立した人材コン

サルティング機関を通じて受
け入れた留学生は累計200
名前後で、今年の介護福祉士
国家試験を受験した40名のう
ち、じつに39名が合格した。
昨年は6名が受験して6名と
も合格したので、今年の実績
は突発的な奇跡ではない。

留学生の受け入れは新型コ
ロナウイルス感染症問題が大
きな障壁となり、今後の見通
しも不透明だが、まずは本特
集で同グループの取り組みを
学んでいただきたい。

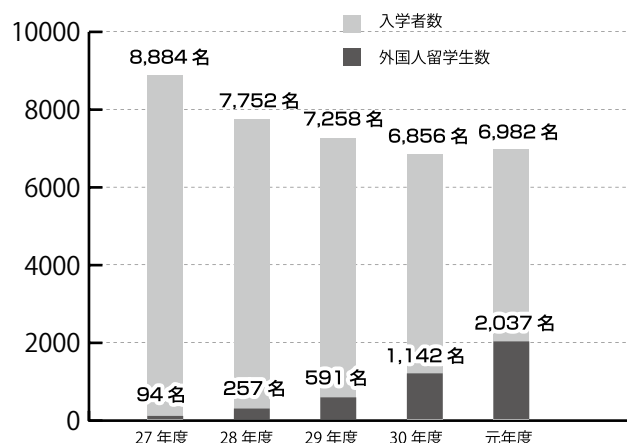
— 今月5日に成立した改正
社会福祉法の関連法は、介護
の専門学校等を卒業した人が
国家試験に合格しなくても、
暫定的に介護福祉士の資格を
得られる2021年までの特
例の経過措置を5年延長する
とした。慢性的に不足する介
護人材を確保するために、外
国人留学生の就労を促す狙い
だ。

経過措置は延長となった
が、介護福祉士養成施設で学
ぶ外国人留学生の質を高める
ことが喫緊の課題であること
には変わりないだろう。

（文／編集部）

介護福祉士養成施設・EPAにおける介護福祉士国家試験合格率

【図表1】 介護福祉士養成施設
日本人を含めた全体の入学者数の推移

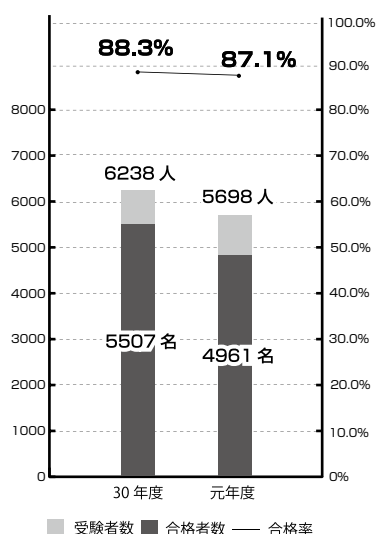


【図表1】 令和元年 10月31日 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会
社会保障制度調査会介護委員会提出資料より編集部作成

平成 29 年 9 月、在留資格「介護」が創設されたことにより、介護福祉士養成施設に入学する外国人留学生は、従前は卒業して介護福祉士の資格を取得しても日本で介護業務に従事できなかったが、創設後には日本で永続的に介護業務に従事できるようになった。またこの在留資格「介護」が創設されたこと等により、介護福祉士養成施設への外国人留学生の入学者数は近年急激に増加している。平成 27 年には 94 名だったものが、平成 31 年には 2,037 名と約 20 倍になっている。尚、介護福祉士養成施設の日本人を含めた全体の入学者は平成 27 年より減少傾向にあり、平成 31 年では入学者 6,982 名のうち約 3 分の 1 が外国人留学生となっている（図表 1）。

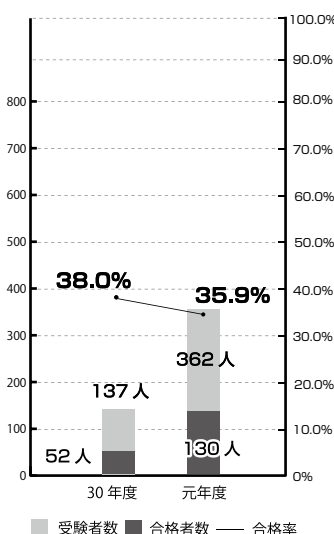
（令和元年 10 月 31 日 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会 社会保障制度調査会介護委員会提出資料より抜粋）

【図表2】 介護福祉士国家試験合格率
【全卒業生】



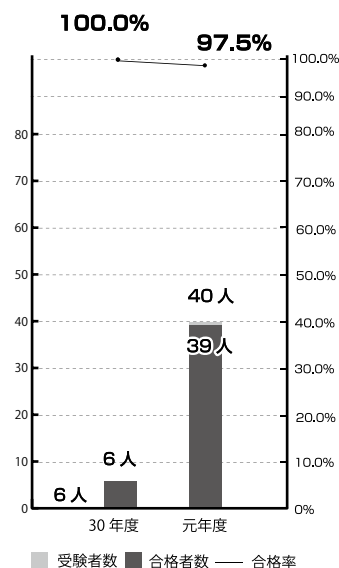
【図表2】 令和元年 10月31日 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会
社会保障制度調査会介護委員会提出資料より編集部作成

介護福祉士国家試験合格率
【うち外国人留学生】



【図表3】 青山メディカルグループ
留学生

介護福祉士国家試験合格率



【図表3】 編集部作成

介護福祉士国家試験の合格率を全卒業生でみていくと、平成 30 年度は合格率が 88.3%、平成 31 年度は 87.1%という高い合格率となっているのに対し、外国人留学生は平成 30 年度は 38.0%、平成 31 年度は 35.9%となっている（図表 2）。平成 28 年 3 月、養成校の卒業生に係る介護福祉士の資格取得方法の一元化に関し、令和 4 年度から国家試験の義務付けを図るために設置された 5 年の経過措置に関する法律が公布された。この『経過措置』により、現在は国家試験に合格できなくても在留資格「介護」を取得できるが、『経過措置』終了後は介護福祉士国家試験に合格できないと在留資格「介護」を取得できないため、母国に帰るなどしなければならない。6 割の外国人留学生が不合格になることを考えると、日本の介護施設で介護事業に従事できない者は毎年 1,000 人以上となり、今後の介護施設における人材不足が毎年 1,000 人以上累積していくことが推定される。

（令和元年 10 月 31 日 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会 社会保障制度調査会介護委員会提出資料より抜粋）

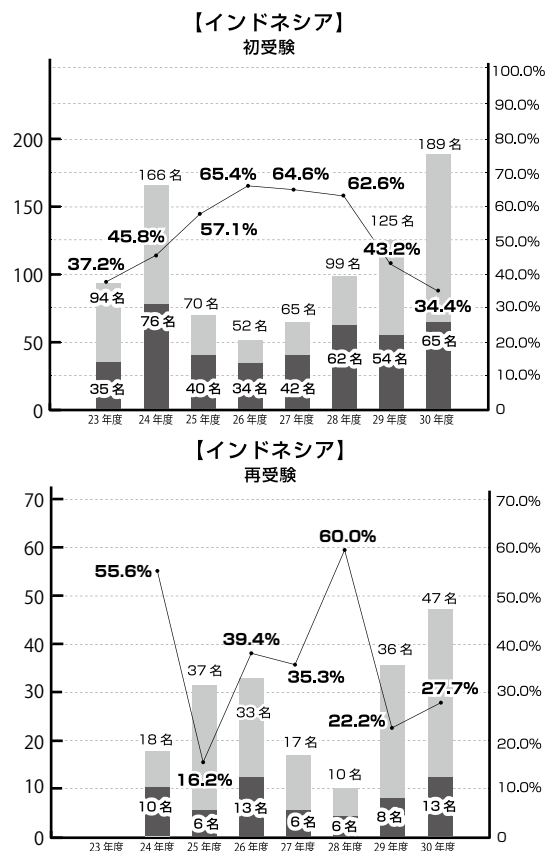
一 今月 5 日に成立した改正社会福祉法の関連法は、介護の専門学校等を卒業した人が国家試験に合格しなくても、暫定的に介護福祉士の資格を得られる 2021 年までの特例の経過措置を 5 年延長するとした。



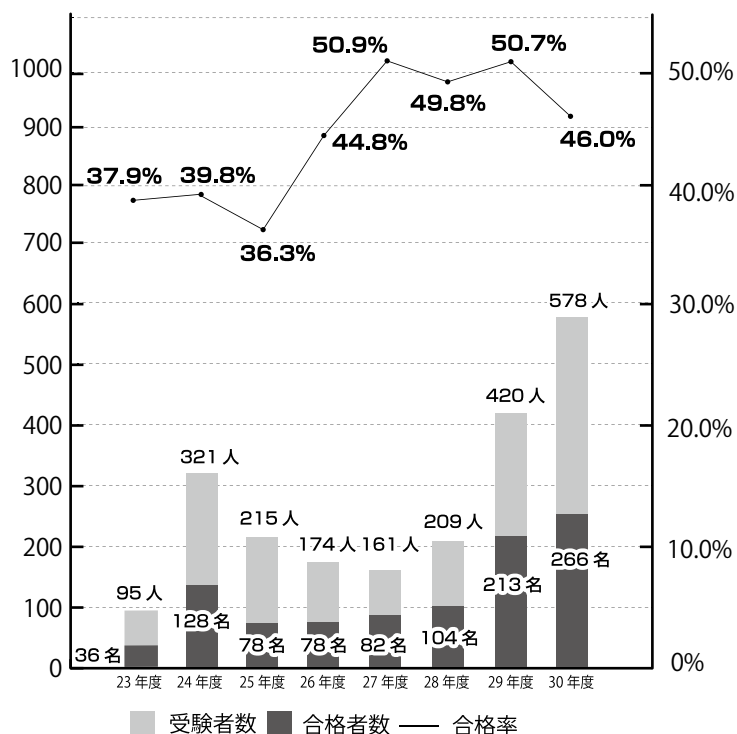
特集

「青山メディカルグループにおける 外国人材の質と教育システムを探る」

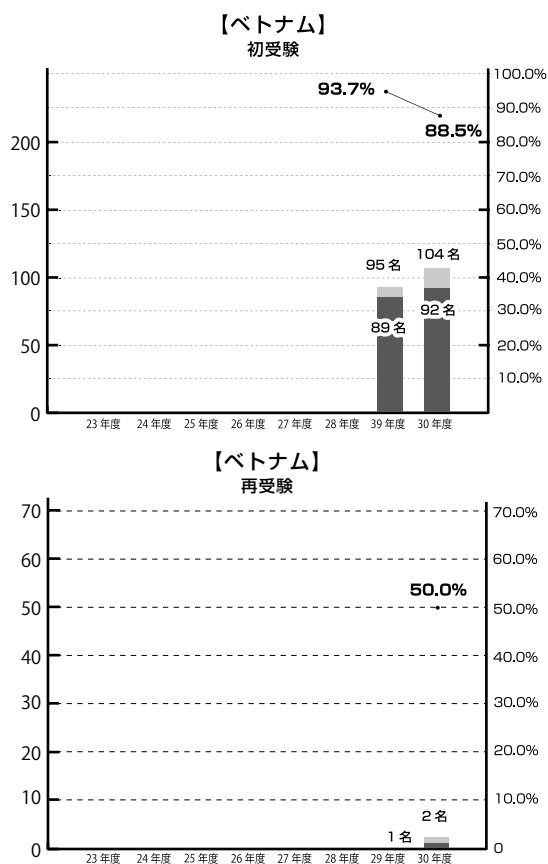
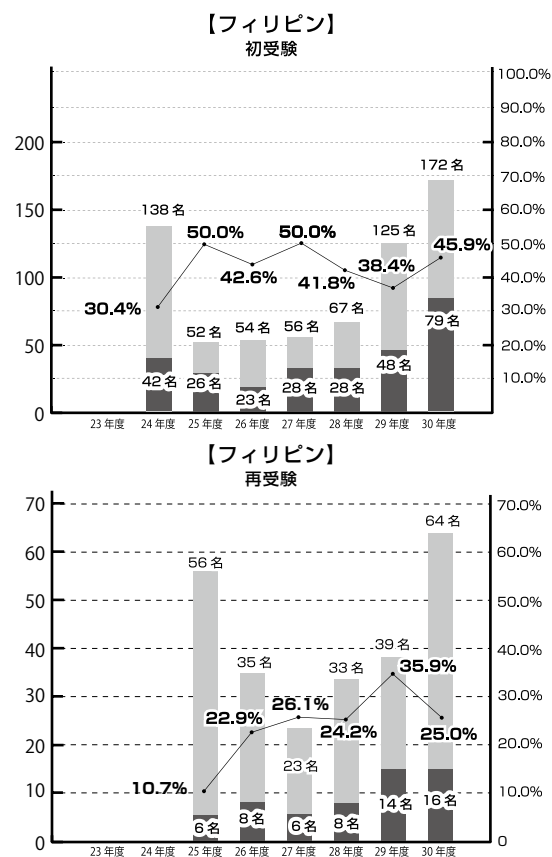
EPA 候補者 介護福祉士国家試験結果【国別】



EPA 候補者 介護福祉士国家試験結果【全体】



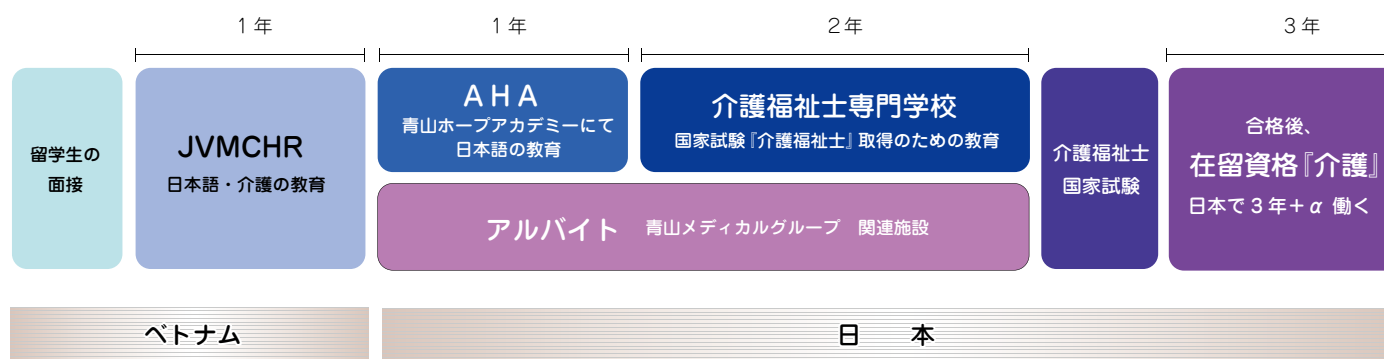
P11 掲載グラフは「第31回介護福祉士国家試験結果」(厚生労働省資料)より



青山メディカルグループ 留学生プログラム



写真上は、ハノイ市民の憩いの場にもなっているハノイのシンボリック存在のホアンキエム湖。
左下は JVMCHR が看護大学で行う説明会の様子。右下は介護福祉士専門学校で学び、介護福祉士国家試験に無事合格し、卒業証書を手にして微笑むファムティティンファン氏。（ファン氏のインタビューは P22 に掲載しています。）





「青山メディカルグループにおける 外国人材の質と教育システムを探る」

JVMCHR in Vietnam



- ① JVMCHR コンサルタントの教育センター長 サイブ千賀氏の日本語授業の様子。学生は一言も聞き漏らすまいと集中して授業を受けている。
② セタまつり。各々自分の夢や希望を短冊に書き、笹の葉に飾っていく。③ 書道体験。『とめ』『はね』など教えられた通りに半紙に書いていく。

青山メディカルグループ 留学生プログラム



- ④ 『今年の漢字』。1年を振り返って、その年の漢字を一字選び、その思いを書いて発表する。
⑥ 介護の授業風景。高齢者のオムツ交換について学んでいる様子。 ⑦ クラス風景。夢に向かって学ぶ学生の笑顔は輝いている。

AHA in Japan



①神社体験。神社とお寺の違いは？鈴、お賽銭、初詣、お守り、手水…。利用者さんと話す際の基礎となる体験を積み重ねる。②文化パフォーマンス。ベトナムの民族衣装『アオサイ』姿で伝統の舞を披露。③百人一首体験。正座とあわせた文化体験の一つ。体験とはいえ目は真剣そのもの、白熱のバトルとなる。④寮で遅くまで勉強をしている様子。徹底的に宿題を課されるので、学生は寸暇を惜しんで勉強をする。⑤日本語授業の様子。

青山メディカルグループ 留学生プログラム

アルバイト in Japan



⑥⑦アルバイト先の介護施設で利用者の洗髪、ベッドメイキングをする様子。⑧施設のイベント『クリスマス会』に参加する留学生（黒い服が留学生）。一人のスタッフとして日本人に自然に受け入れられていくケースが多くある。⑨介護施設でカンファレンスに参加をする様子。

⑩寮での食事の様子。その日学校であったこと、アルバイト先であったことを話しながら食べる夕食は、明日への活力となっている。

受験者40名中39名が国家試験合格

勉強に専念させる体制を整備

青山メディカルグループのグループ会社であるJVMCHRは、介護人材確保に向けて、外国人留学生を累計200名強受け入れてきた。2020年介護福祉士国家試験では40名が受験して39名が合格している。人材募集から教育支援への取り組みについて、岡田代表に聞いた。



JVMCHR 代表取締役
株式会社青山ケアサポート

代表取締役
岡田 宗修 氏

特徴として

は、グループ全体の規模は大きいのですが、大阪府と兵庫県に渡る広いエリアに施設が点在しています

担っています。

■JVMCHR設立から今日までの取り組みとその経過、および経営方針について教えてください。

岡田 2015年6月に経営コンサルタント及び人材コンサルタントとして、ベトナム国においてJVMCHRを設立しました。現在ではさらに、留学コンサルタントや人材紹介、教育ライセンス等を順次取得し、事業を展開しております。

JVMCHRの経営方針や存在意義は、ベトナム人材と日本人材のニーズをマッチングさせることで、日本とベトナムの架け橋になるというものです。親日国であるベトナムの人々に、日本を好きでい

つづけてもらうために、我々

ができることは何なのか？ベトナム人スタッフの意見も取り入れながら、双方に貢献できる事業を展開していきたいと考えています。

介護人材を育成するためのプログラムは、まずベトナム国内の日本語学校において、日本語レベルをN3まで高める。次に、日本への入国後、日本語学校で1年、介護専門学校で2年学んだ後、介護福祉士の資格を取得し、在留資格『介護』を獲得するという流れで、「自己負担ゼロの完全給付型」の奨学金プログラムです。このためプログラム修了後、何年間か働いて返済しなさいとか、途中で離脱したらそれまでの費用を返済しなさいといったものではありません。

■その後、JVMCHRの事業内容に変化はありましたか。

岡田 もともとJVMCHRは、留学生を日本へ送り出す留学エージェントでしたが、現在事業のメインは、来日希望があるベトナム人材の募集と日本語教育に変わってきています。2018年3月には、

ハノイ My Dinh 教育センター（日本語及び介護教育）及びダナン支社を本格的に稼働させました。同時期に、国立ダナン医薬技術大学にて、日本語学習希望者に対し日本語寄

付講座を開始し、同年9月には同大学に日本語学科を弊社全面協力のもと開設していただき、大学の必須外国語選択科目として日本語履修希望の1期生に日本語教育を開始いたしました。現在は1期生2期生合わせて88名の看護学生が必須外国語科目として日本語を学んでいます。またコロナ禍で開始が遅れましたが、今年5月にはフオンドンダナン短期大学においても、弊社と特定技能及び技能実習生送出機関のNCHRR社協力のもと同様のスキームで日本語教育を開始しております。

このように、私たちは、大学内において一般的に他社が行っている日本語寄付講座ではなく、大学のカリキュラムに日本語学科を開設して、学科の運営を受託しています。現地に配置している日本語教師は、日本人4名（日本国

■岡田代表の略歴と青山メディカルグループの概要についてお聞かせください。

岡田 青山メディカルグループは、大阪府藤井寺市にある総合病院「青山病院」を中心に、総合病院やクリニック、特養や老健、有料老人ホーム、在宅サービスなど、38施設・88事業所を運営し、総従業員数は約2500名です。

私は、2000年に川崎医科大学を卒業して医師になり、兵庫医科大学病院の小児科学教室に入局し、その後、青山メディカルグループにて主に介護事業及びそれに関連する事業の立ち上げや事業化を

内資格である日本語教師資格（所持者）とベトナム人7名の計11名で、日本において我々が運営している日本語学校（Aoyama Hope Academy）の教師の数を上回っています。また、カリキュラムに関して、もAHAと連動させながら、常に効果的な日本語教育カリキュラム作成に努めています。現在、我々のもとで来日を夢見て日本語を学習しているベトナム人人材は、250人以上になっております。

また、日本語教育のみならず、介護技能実習生に対する出国前準備研修、技能実習生管理団体から受託している入国前講習、ベトナム国内における介護福祉士実務者研修資格取得サポート、J・TES T（実用日本語検定）実施コーディネートなど、教育関連事業も幅広く展開しています。

勉強に注力できない留学生には帰国を命じた

■特定技能については、どのような動きが見られますか。

岡田 特定技能については、NCHRR社が送出機関の認可

を取得しましたので、こちらから人材を供給していきます。すでにJVMCHRR、NCHRR、エタンセル（登録支援機関）と4つの大学・短期大学との間で人材募集教育送出契約を締結しており、介護業界に限らず様々な分野で「募集、教育、送り出し」を行っていきます。また、この3月には懸案事項である特定技能に関するベトナムのローカルルールが公表されました。費用に関しては、送出機関は日本側受入れ法人と候補生から合計給料3カ月分を上限に徴収でき、そのうち1カ月分は日本側受入れ法人が支払うという内容です。なので、特定技能は技能実習生ほど来日時に候補生の自己負担費用がかからないため、特定技能での来日希望者は増えるでしょう。

ただし日本側から見ると、特定技能の場合は日本に来てからの転職が可能のため、都市部以外の事業者にとっては、給料の高い都市部に来日後早い段階で、転職されるというリスクが生じます。給与情報は、在日ベトナム人コミュニ

ティの中ではすぐに共有されてしまっていますので。

■青山メディカルグループも特定技能を採用されるのでしょうか。

岡田 いえ、基本的に特定技能での積極採用は考えておりません。青山メディカルグループの1/3程度の施設は兵庫県の山間部に開設していますので、採用しても都市部に転職される可能性が高いからです。また昨年4月には6名、今年4月には37名のベトナム人介護福祉士の新卒を採用したほか、ベトナム人留学生アルバイトが100名以上いますので、向こう2〜3年を考えると、100名近くのベトナム人介護福祉士を新卒で賄えるため、スタッフ人数は十分な状況にあります。

そこで我々としては、今後は比較的雇用の数字が読みやすい技能実習生を定期的に採用し、その中から優秀でやる気とロイヤルティの高い実習生を特定技能に切り替え、実務経験ルートで介護福祉士になる人材を育て、在留資格『介

護』へと導いていく方針を固めています。その為に現在の留学生の中から介護福祉士試験に合格した者を全施設に配置し、技能実習生の教育担当に据え、さらに2年後に優秀な実習生を特定技能に切り替えて、その後、介護福祉士試験に合格すれば在留資格『介護』に移行していく。そのようなコースを想定しています。したがってベトナムから直接入国してくるベトナム人特定技能人材については、受け入れを希望される我々以外の介護事業者さんへの供給を考えています。

■この度の介護福祉士国家試験で、青山メディカルグループが支援する留学生40名のうち39名が合格されたそうですね。高い合格率となった要因についてお聞かせください。

岡田 難しい質問ですね。じつは去年は、6名が受験して6名とも合格したので、合格率は100%でした。今年は昨年を下回ったのです（笑）。複数の要因でこの結果につながったとは思いますが、一つ

目の要因としては、留学1年目の日本語教育を自社グループ内でしっかり行い（AHA）、高いレベルで専門学校に入学させたという点だと思います。2つ目としては、アルバイトを通じてしっかりと専門学校に入学する前に介護の現場や仕事内容を理解させたという点です。そして3つ目としてはベトナム人であるということ。EPAの介護福祉士合格率を見ましても、他の国に比べてベトナム人の合格率はとても高いです。これは、ベトナム社会が比較的学歴重視の社会で、勉強をする癖や試験を受けた経験が他国に比べて相対的に高いからだと思っています。

4つ目は忍耐と学生にかかわる職員や先生方の努力ででしょうか。正直に言いますと、すべての生徒が理想の生徒ではありませんでした。中には親元を離れ日本に来た解放感で当初、来日時に持っていた介護福祉士になる夢を忘れて、異性交遊でダメになった生徒や、遊び惚けて学校を休んで勉強についていけなくなる生

「青山メディカルグループにおける 外国人材の質と教育システムを探る」

徒もいました。そういう生徒に対しては、学校の先生方や支弁法人の管理者や、留学生管理チームのメンバーが根強く何度も面談や生活指導を行っていました。そのような努力の結果、また初心に帰って頑張る生徒もいましたが、奨学金制度の規定に違反し続ける生徒に対して支弁者として毅然とした態度で帰国を促すこともありました。昨年11月に話し合いの結果2名の留学生在が帰国になりました。この生徒たちは今年卒業した専門学校の留學生の同期で、この学年に関しては、ここ1年ほど帰国はなかったのですが、残念ながら帰国者が出ました。そのこともあって、他の留學生はかなりの緊張感をもって勉強に取り組むようになったと思います。

■2名は泣く泣く帰国したのではないのでしょうか？

岡田 いえ、2名ともケロッツとしていました。普通なら奨学金をもらっているという事で、感謝を感じるでしょうが、帰国していく生徒たちは感覚

が違います。奨学金をもらっていることには「それはそれ」と割り切っていて、「勉強で苦しむのは自分だから、自分の人生なので自分がしたいようにする」という意識なのです(笑)。お金とがんばりがつながつていません。手厚い奨学金を支給しても、それが当たり前と思ってしまうのです。「普通は」とか「常識では」と説明しても、それは日本の基準であって、こういった生徒には通用しません。

■留學生に対する学習環境の整備で工夫したことを教えてください。

岡田 国家試験前の昨年12月には勉強に専念させるために、アルバイトの時間をほぼゼロにしました。留學生たちは日本に来て3年近く経ち、この間のアルバイトでお金を貯めているうえに、生活費として毎月4万円を貸与していたので、勉強に専念しても経済的に困る状態ではありませんでした。さらに専門学校の先生方が本当に頑張ってくださったことも大きいと思います。とくに

追い込み段階でしっかりと指導してくださいました。我々の留學生を大事にしてくださいましたことに感謝しています。

青山メディカルグループの留學生が通っている専門学校は、大阪府に2校、兵庫県に2校ですが、どの専門学校でも「外国人留學生」青山メディカルグループ」という位置付けになっているので、かなり熱心に協力してくださっています。当初より我々と一緒に頑張ってもらっており、感謝しております。

「月給16万円は安い」と評価
給与水準で他国よりも不利

■全世界からベトナムに求人
が殺到して、人材の枯渇が叫ばれていますね。

岡田 ベトナムの若者にとって進路の選択肢が増えたので、大都市圏では日本に行きたい人材を集めにくくなっています。経済発展によって、ハノイやホーチミンなら日本円で月8〜10万円を稼げる時代が見えてきたので、とくに都市部の優秀な人たちはあまり応募してきません。応募してく

るのは遠隔地や農村部の人たちが多いので、我々もハノイ周辺での募集はもう無理だと思っています。ダナンに軸足を移しています。ダナンはまだまだ観光以外に主な産業がなく、ビジネス街ではないので、仕事があっても雇用条件が良くなく、日本に行きたいという人を集めやすいのです。

また、ベトナムでは非常に多くのブローカーが動いていることも、募集活動の支障になっていきます。

依然として日本は就労先として人気の高い国ですが、あくまで東京や大阪など都市部に限られた人気で、地方は人気の対象外です。

■ヨーロッパや中国、韓国、台湾における外国人労働者に対する労働条件は、日本と比べて、どのような現状ですか。

岡田 韓国と台湾に行きたいという声は聞きますが、中国に行きたいという声はあまり聞いたことがありません。韓国や台湾は日本に比べて往復の航空運賃が安いことや、日本より様々な面で待遇が良い

という話も聞きます。そのあたりも台湾や韓国の魅力のひとつだと思われます。

日本については、この20年間デフレが続いてきた影響からなのか、給料が低いという評判が広がっています。1年以上前は月給13万5000円で「まずまず良い条件」と言われましたが、今では「16万円では安い。18万円や19万円でない」と言われるようになりました。

送出機関からは「手取り13万円以下では集められないので、受け付けません」と申し渡されているようです。また最近では介護以外の日本の職種、例えば製造業や観光産業、外食産業等の給料は20万円を超え給与水準が上がっているため、介護の雇用条件は不利になっています。

世界的に人手不足が続くなか、各国がベトナムに人材募集をかけているため、日本としての強みが問われ始めています。ベトナム人にとって、今はまだ日本は憧れの国ですが、人材の募集を行っていますが、率直に言って、給料面、

待遇面また在留資格の取得に
関しても、このままでは日本
は他国に太刀打ちできません。

■JVMCHRは、早くから
看護大学などの提携で人材
の安定確保を図られました。
その成果はいかがでしょうか。

岡田 青山メデイカルグルー
プは、提携先大学の学長や国
際交流部長など関係する大学
の方々を日本に招待して、受

け入れ施設や留学生の通う学
校、住居を実際に視察して頂
き、すでに日本に来ている
我々の留学生との交流の場も
設けています。このような取
り組みを通して、ガラス張り
ですべて見ていただくことに
より全面的な信用を得ていま
す。ベトナムでは日本以上に
大学の先生方が学生の進路に
大きな影響力を持っているの
で、先生方に推奨していただ
けると、安定的に人材を確保
できるようになります。また、
今春に予定していた看護大学
の実習教育を当グループの病
院や介護施設において実施し、
卒業単位として認定する試み
は、在留資格の取得まで行え

たのですが、残念ながらコロ
ナ禍の影響で学生が来日でき
ずに見送りになりました。し
かし、この取り組みは来年か
ら再来年にかけて本格的に大
きくなっていく見通しです。

■介護分野の在留資格は、EPA
留学生、技能実習生、特定技能、在留
資格「介護」の5種類となりました。
それらの評価、今後のJVMCHRの
事業展開についてお聞かせください。

岡田 多くの来日外国人が目
指すところは、日本で一番長
く仕事ができ、家族も呼べて、
永住もできる在留資格「介護」
です。さらに雇用側にとって
も、日本人と同じように雇用
でき、仕事内容や勤務できる
事業種別も制限のない在留資
格「介護」が、一番望ましい
形だと思っています。

特定技能に関しては、最長通
算5年間の勤務が行えますが、
介護に関しては訪問系サービ
スでの勤務が許可されておら
ず、住宅型有料老人ホーム等
での勤務が実際はできません。
また、特段の事情がない限り
家族の帯同も認められてお
らず、これらの点においてま

だまだ就労側雇用側のニーズ
をすべて満たせているわけで
はないと思われます。ただ在
留資格「介護」への実務経験
ルートが使えるようになった
為、このルートのプロセスと
しては非常に有効だと考えて
おります。ですから、我々も
今年4月よりインドネシア人
特定技能スタッフをパイロッ
トケースとして大阪市内の施
設に5名雇用しました。この

子たちは元々他業種の技能実
習2号生で介護経験は全くな
かったのですが、今のところ
問題なくベトナム人スタッフ
や日本人スタッフともうまく
やれているようです。インド
ネシアや特定技能は我々に
とって新しい試みで、これか
ら経験を積んでいき、よりよ
い活用方法を考えていきます。

技能実習に関しては、最長
3号までの5年間の勤務が可
能ですが、実際は2号終了後
特定技能への在留資格変更希
望が主になると思われるので、
実質は3年間の勤務になると
思います。特定技能と同じよ
うに訪問系サービスでの実習
は不可で、家族帯同も認めら
れていません。また、実習生
にとつては実質的には転職に
自由がないことも、特定技能
より魅力が劣ると思います。
ただ雇用側としては転職リス
クがほはなく、人員配置予定
か立てやすいのが魅力かもし
れません。ただ、勤務期間は
3年と短く、ようやく一人前
に育てた段階で実習期間が終
わってしまうのが制度として
使いづらいかもしれません。

ただ、技能実習と特定技能
を合わせれば8年間の勤務が
でき、この期間内でしっかりと
介護福祉士国家試験合格への
サポートを行い、在留資格「介
護」へ繋ぐことができれば、
後述の留学生よりもコストパ
フォーマンス的には良いかも
しれません。

留学生に関しては、元々我々
のメインの外国人人材確保方
法でしたので、絶賛したいと
ころですが、ここ4年間で日
本国内の法制度も変わってき
ておりコストパフォーマンス
的には厳しくなってきたとい
のが現状です。ですから、我々
も留学生に関しては、今年か
ら少数精鋭で育てていく方向

重点指導する語学技能は 介護に必要な聞き、話す能力



JVMCHR留学コンサルティングセンター
センター長 サイブ 千賀 氏

就いて8年目と
なる2018年、
JVMCHRに
就職しました。

現在は日本語
教師兼センター
長として、授業
の他に、教育の

■JVMCHRへの入社年度
と動機、お立場をお聞かせく
ださい。

千賀 私は大学時代にベトナム語を専攻し、卒業後は会社が受注したJICA（国際協力機構）のベトナムプロジェクトに参画して、ベトナムにも何度か出張していました。その後アメリカ人と結婚してアメリカやオーストラリアなどで暮らし、娘たちが一人暮らしのできる年齢になったので、かつてお世話になったベトナムのために何か尽くしたいという動機でベトナムに来了ました。日本語教師の仕事に

管理、カリキュラム策定、スケジューリング策定、教師の指導、学生の管理、日本側・ベトナム本社・ダナンの拠点とのやりとりなどを担当しています。

■2015年にベトナムで設立されたJVMCHRは、外国人介護人材の支援を目的に、教育・留学コンサルティング・人材紹介マーケットリサーチなどを行っていると考えています。JVMCHRの特徴や魅力は何でしょうか。

千賀 私はベトナムで日本語教師として働く時に、いろいろなセンターや大学を視察し

てきました。そのなかでJVMCHRの魅力は、まず「WIN-WIN」という理念です。日本のためだけでなく、経済的事情等により教育を受ける機会に恵まれないベトナム人に対して、平等に活躍できるチャンスを与え、不当な搾取もせず、お互いのために教育するという理念がブレていないことを強く感じています。それから、日本への留学を希望する学生に対し、どのような田舎であっても必ず家庭訪問をして、家族に受け入れ体制をきちんと説明する誠実さがあります。

また、連係プレーもJVMCHRの魅力のひとつです。日本に送り出した学生の状況を一人ひとり把握し、何かあれば即座に家族に連絡を入れる体制を整えています。

■人材の質や教育の質が高い

■入寮して日本語や介護を学ぶベトナム人学生の学習態度、生活状況はいかがでしょうか。

千賀 ベトナム人と日本人は似ていると言われますが、ベトナム人は個人主義だと感じます。「人からどう見られようが、自分がこれをやりたいからやる」という姿勢が見られますし、女性も皆で誘い合わず、昼食を一人で食べに行く学生もいます。授業でディスカッションを行ったときには、決して自分の意見を曲げない学生もいて面白かったです。しかし、進路については自分の意見よりも両親の意見を優先することも、日本人との違いではないでしょうか。

■このたび青山メディカルグループでは、留学生の介護福祉士国家試験で40名中39名合格という驚くべき結果がでましたね。

千賀 アルバイトもしながら受験するのですから、本当がんばったと思います。学生たちの励みになります。

（文／編集部）

日本語能力試験向けでなく 介護現場で使える日本語力に特化



青山ホープアカデミー日本語学校
副校長 阿部 卓史 氏

教育と学校運営を担っています。専門は日本語です。

■A H Aは17年の開校から3年が経過しました

■入職年度と動機、お立場、ご専門をお聞かせください。
阿部 留学生が借金を背負って入学してくるような一般的な日本語学校で約15年、日本語教師を務めて、青山ホープアカデミー(A H A)が開校する半年前の2016年に入職しました。

が、A H Aの位置づけと役割、質の高い日本語教育を行っている教育方針と教育プログラム、他校との差別化についてはいかがでしょうか。

阿部 一般的な日本語学校とA H Aを兼務している先生方はA H Aを「ザ・宝塚」と呼んでいます。理由は「清く、正しく、美しく」を実践しているからです。青山メディカルグループの学生が中心ですが、他の社会福祉法人の留学生も受け入れて、A H Aは「介護の高度人材」を日本の社会に輩出していくことを役割に据えています。介護の高度人材になるには在留資格「介護」

岡田代表から「A H Aは奨学金を支給し、貧困な留学生にも留学のチャンスを与え、正直に入国管理局に申請してビザの作成手続きをしている。だから存分に力を発揮してくれ」と言われたことが入職する動機になりました。現在はA H Aの副校長として、

を取得しなければなりません。そのためには介護福祉士の国家試験に合格しなければならず、さらに介護専門学校を卒業しなければなりません。その日本での出発点に本校があるのです。

A H Aの定員は100名で、現在は全員がベトナム人の女性です。ベトナムでN4ないしはN3相当レベルに達した学生を受け入れ、午前・午後の2部制で授業時間は1日4時間、教員数は6名です。教育方針は、介護専門学校の学びに耐えられる日本語教育に特化させていることが大きな特徴です。そのぶん、専門学校での学びの成果が高く、国家試験の合格率でも高い成果を出しています。

■ベトナムからの留学生の受け入れ状況と人材の質、またN2を取得し介護福祉士専門学校で落ちこぼれることなく学習

ができるためのモチベーションアップなど工夫している取り組みについて教えてください。

阿部 アルバイト先と連携し、生活管理も含めた24時間管理が大きな特徴です。それから経営上「N1何名合格!」というような対外的なアドバルーンは不要なので、専門学校の教育に耐え得る特化教育ができています。じつはN2に合格するのは意外にも簡単で、日本語の難しいことを多く覚えて、漢字をたくさん読めるようになれば合格します。

しかし、それだけで利用者さんと話したり、リーダーの指示を理解できるのでしょうか?例えば日本語能力試験向けの教育ではなく、やさしい日本語をきちんと使いこなす能力、知らない単語でも意味を把握する類推力、ソフトな語尾での話し方などを教育しています。それでもN2およびN2相当試験の合格率は総学生の35%と日本語学校のベトナム人平均を大きく上回っています。

■この度、青山メディカルグ

ループが支援する留学生が介護福祉士国家試験において高い合格率となったことについて、感想をお聞かせください。

阿部 奨学金制度について「騙されているんじゃないか?」と疑った親御さんもいましたが、このことで学生と親御さんに報いられたと安心しました。ビジネスとしてミッションをクリアできた安心、介護業界での新しい取り組みへの期待に応えられた安心など、いろいろな意味で安心の一言です。

■コロナ感染対策で、留学生や技能実習生の入国が困難と伺っています。現状はいかがですか。

阿部 本校にも大きな影響が出ました。一度帰国して介護技能実習生への転身を考えて、介護以外の道を探そうとして帰国を予定していた学生が15名いて、3月25日に卒業式を行いました。特例で留学ビザを更新できたので、まだA H Aで学んでいます。新入生は入国の目途がついていません。

(文/編集部)

個別面談やライン活用で 学習・就労・生活を支援



青山メディカルグループ
兵庫地区統括責任者
介護老人福祉施設サンビロこうべ 施設長
早川 達道 氏

教えてください。
早川 留学
生の受け入
れは①入国
前にベトナ
ムで日本語
教育および
介護技術の

■入職年度と動機、お立場を
お聞かせください。

早川 私は自然豊かな兵庫県
宍粟市に生まれ育ったことも
あって地元への愛着が強く、
この地で就職をと探していた
ところ当グループの特別養護
老人ホームに縁あって採用頂
きました。入職は1997年。
現在は、社会福祉法人恩徳福
祉会 特別養護老人ホーム「サ
ンビロこうべ」施設長と青山
メディカルグループ老人福祉
施設の兵庫地区統括責任者を
務めさせて頂いています。

■青山メディカルグループでの留学
生の受け入れの実際についてお聞か

基礎教育が行われていたこと
②入国後は当グループの日本
語学校で語学教育をはじめ日
本の文化や社会生活を送る上
での習慣やルールなどを学ん
でいたこと③大阪地区内の当
グループの介護施設で介護実
践を積んでいたことにより、
比較的小スムーズに進みました。
就労支援では、受入れ前に
施設職員に外国人留学生を受
け入れる目的や経緯、ルール、
文化の違い、それまでに受け
た教育の内容、支援すべきこ
となどを説明し十分な理解を
得た上で打ち合わせを重ねま
した。通勤は、就労前に担当
職員が付き添って電車やバス

の乗車方法などを説明しまし
た。また就労初期の段階では、
数カ月の研修を行い、留学生
の不安や疑問の解消に努めま
した。

学習支援では、専門学校へ
入学してからの数カ月は、慣
れない環境への変化に対応で
きなかったり、勉強について
いけなかったりなど悩みを抱
える留学生も見受けられるた
め、専門学校の先生や職員が
個別面談やラインなどを活用
し補講を行ったりと、出来る
限りコミュニケーションを図
りながら支援を行います。

生活支援においては、担当
職員が定期的に寮を訪問し、
困っていることはないか、ト
ラブルに巻き込まれていない
かなどを確認します。病気に
なったときは、専門学校の先
生と施設が連携しながら受診
や入院の手配をします。

■施設内において外国人留学
生の仕事ぶりをどのように評
価していますか。

早川 事前に日本語学校で語
学教育を受け一定の日本語能
力を携えた上で働いているた

め、ご利用者様からの評価
は良好です。また、性格的に
も明るくて優しい人が多いた
め、頼りにしているご利用者
様も多いようです。

職員達は、当初、留学生が
日本の介護現場に馴染めるか
どうか不安も大きかったよう
ですが、しっかりと目的意識
をもって真面目に一生懸命働
く姿を見て、今では当施設の
介護職員としてなくてはなら
ない存在と評価しています。

■この度の介護福祉士国家試験で留
学生が40名中39名合格しましたね。

早川 当然ながら本人の努力
が大きいですが、ベトナムで
の募集の段階から受け入れ・
就労までを青山グループが一
元的に管理し、留学生の家族
にも丁寧に説明され、理解を
得たもとでプログラムに参加
していること、また受入機関、
専門学校、就労先等の各担当
者が情報を共有し連携しなが
ら支援していることで学習・
生活・就労の3つを両立でき、
こうした取り組みが、介護福
祉士国家試験合格というひと
つの目標達成につながったの

ではないかと思っています。

■現在、試験に合格した外国
人介護人材が正規職員として
就業されています。どのよう
に評価されていますか。

早川 ベトナムを離れての就
業のため、生活面や精神面の
サポートは引き続き必要です
が、介護人材としては日本人
との能力の差はほとんどない
と実感しております。

■施設内において日本人と外
国人の構成割合はどのくらい
が適正だと考えていますか。

早川 青山メディカルグルー
プの留学プログラムで来日し、
在留資格「介護」を取得した
外国人であれば、介護人材と
しての日本語能力や専門知識・
専門技能は日本人と大きな差
はないと感じています。今後、
受け入れを検討している技能
実習生、特定技能「介護」な
どの組み合わせにより、施設
で働く介護職員のうち3分の
1から半数くらいまでは外国
人介護人材で構成されても問
題ないと思います。

介護福祉士資格を取得した

ベトナム人介護職員の高い志

青山メディカルグループのプログラムを活用して介護福祉士の国家試験に合格し、在留資格「介護」を取得したベトナム人介護職員は目的意識をもって働いている。2人のベトナム人介護職が日本での経験を語る。



マン グエン スアン ハン氏

マン グエン スアン ハン氏
住宅型有料老人ホームで訪問介護の仕事をしています。

ベトナムのホーチミン市出身で、両親、弟、妹の5人家族です。ベトナムのホーチミン市法律大学法学部を卒業しました。大学時代に日本語学校に通い、N2に合格しました。その後、青山メディカルグループの奨学金プログラムに申し込んで、大阪保健福祉専門学校に入学しました。日本に来てから介護の勉強を始めたのです。

日本語学校に通ったのは、もともと日本の歌とアニメが好きで、言葉の意味を理解

したかったからです。先生から日本の文化や食べ物について教えられ、いつか日本で暮らしてみたいと思うようになりました。日本での仕事を調べて、青山メディカルグループのプログラムなら日本語を使った仕事ができると思い、申し込みました。

専門学校では介護の専門用語が解らずに苦労しましたが、先生が補講などを行ってフォローしてくれて、どうすれば合格できるかを考えながら必死でがんばりました。不安なときもありましたが、先生からは「解らないところはどんどん質問して復習をすれば大丈夫」と言われました。学生時代は特養で働いていましたが、利用者様は「日本語は難しいけど、がんばってね！」と応援してくれました。2年間勉強して昨年、介護

福祉士の国家試験に合格しましたが、合格を知ったときには本当にうれしかったです。先生にはすごく感謝しています。先生はとても喜んでくれましたし、アルバイト先のリーダーと利用者様も「よかったね！」と喜んでくれました。

日本の介護については、高齢者は厳しい人が多くて大変かもしれないと思っていましたが、利用者様はやさしくて、日本語も親切に教えてくれます。ここで学んだ介護技術とコミュニケーション力を活かして、帰国したらベトナムの高齢者のために何かサービスをしたいと考えています。(談)

ファム ティ タイン フエン氏
住宅型有料老人ホームで訪問介護の仕事をしています。出身はハノイ市から北に80キロ先のフート省で、祖母、母、



ファム ティ タイン フエン氏

妹の4人家族です。高校を卒業し、日本語センターで1年半勉強をしてN3に合格してバイク部品の工場に就職しました。ここで通訳の仕事を1年経験しましたが、自分には向いていないと思い、他の仕事を探しました。祖母といっしょに住んでいたのが高齢者のサポートにも関心があり、青山メディカルグループのプログラムは私に向いていると思い応募しました。

こちらでは、学費も家賃も払ってくれるので、とても助かります。日本語学校と福祉専門学校で勉強して、介護福祉士試験に合格し今年3月に卒業しました。日本語能力検定試験ではN1に合格しています。介護福祉士に合格したときはすごくうれしく、青山メディカルグループの皆さんの応援があったからこそ、今があると思います。ベトナム

の家族に合格を連絡したときは、毎日合格をお祈りして泣いていた祖母が、喜んで泣いていました。

老人ホームで働いてみて、気になったのは、何カ月も利用者様に会いに来られない家族がいることです。会に来て「おじいちゃん、おばあちゃん、どうしている？」と話をすることが親孝行だと思っています。戦争を経験したおじいちゃん、おばあちゃんのお陰で今の日本があるのでしょ？ 私はスタッフとして、いくら忙しくても、利用者様に敬意を持って介護をしなければならぬと思っています。

日本の介護施設には福祉用具や設備が整っていて、とても働きやすい環境です。これからベトナムも高齢化していき、施設がたくさんつくられると思いますが、私は自分の家で暮らすことがベストだと思っています。日本のようにいろいろな介護サービスができ、特に在宅介護があったらいいなと思います。(談)